

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

素直に生きる 松下 幸之助 (松下幸之助著「道をひらく」より)

1. 逆境—それはその人に与えられた尊い試練であり、この境涯にきたえられてきた人は、まことに強靱である。古来、偉大なる人は、逆境にもまれながらも、不屈の精神で生き抜いた経験を数多く持っている。まことに逆境は尊い。だが、これを尊ぶあまりに、これにとらわれ、逆境でなければ人間が完成しないと思ひこむことは、一種の偏見ではなからうか。
2. 逆境は尊い。しかしまた順境も尊い。要は逆境であれ、順境であれ、その与えられた境涯に、素直に生きることである。謙虚の心を忘れぬことである。素直さを失ったとき、逆境は卑屈を生み、順境は自惚を生む。逆境・順境そのいずれをも問わぬ。それはそのときのその人に与えられた一つの運命である。ただその境涯に素直に生きるがよい。
3. 素直さは人を強く正しく聡明にする。逆境に素直に生き抜いてきた人、順境に素直に伸びてきた人、その道程は異なっても、同じ強さと正しさと聡明さを持つ。おたがいに、とらわれることなく、甘えることなく、素直にその境涯に生きてゆきたいものである。
(参考:「PHP」2020年12月号)

幹部への活きた言葉

お互いに認め合い感謝し合う関係

芳村 思風 (思風庵哲学研究所所長)

1. 従来の経営スタイルは支配・命令・管理に基づく「理性型の経営」でした。つまりリーダーには部下に命令して支配し、管理して率いていくという強力なリーダーシップが求められていました。しかし、こういうリーダーの姿勢はいま厳しく批判されています。地位を笠に着た暴言や暴力はパワーハラスメントとして犯罪と認識されるまでになりました。
2. 理性型の経営に代わる新たなスタイルを私は「愛の経営 (感性型の経営)」と呼んでいます。新しい時代には、部下を理不尽に叱ったり批判したり短所をあげつらったりするのではなく、思いやりや心遣いを持って接するリーダーの姿勢が求められます。部下指導は命令から対話へ、マネジメントは管理からパートナーシップへと変化していかなければなりません。お互いに認め合い、感謝し合う関係を築き上げ、共に会社を成長させていくのです。

(参考:「致知」:2021年1月号)

ワンポイント経営アドバイス

従業員を大切にす健康経営

西井 孝明 (味の素社長)

1. ESG (E・環境、S・社会、G・企業統治) の「S」の重要性で思い知らされているのは、「健康経営」です。例えば、米国の冷凍食品事業では、従業員に新型コロナの罹患者が出ましたが、ラインを一度止めて消毒をし、すぐ生産を再開しました。相対的に見ると、あれだけ感染が広がっている中で、BCP (事業継続計画) に基づいて運営できている。
2. 日本式に従業員を大切にす、健康増進に力を入れてきた成果だと思います。多くの罹患者が出て工場を2ヶ月も3ヶ月も止めざるを得なくなっている企業と、我々のように苦しみながら事業を継続できている企業との間には、企業カルチャーの差が出ているのではないかと思います。そういう意味では、製品を通じてより貢献することに加えて、従業員を大切にす健康経営に一層、力を入れたいと思っています。

(参考:「日経ビジネス」2020年11月23日号)

古典に学ぶ

高尚なる人格を持って正義正道を行う

(解説) 人生終局の目的たる成功に対しても、近時多種様にこれを論ずる人があって、目的に達するにおいては手段を選ばずなど、成功という意義を誤解し、何をしても富を積み地位を得られさえすれば、それが成功あると心得ている者もあるが、余はそのような説に左袒することが出来ない。高尚なる人格をもって正義正道を行い、しかる後に得たところの富、地位でなければ、完全な成功とはいわれないのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)